

# オゾンプレス

vol.  
35

2024 September-November

リビングデザインセンターOZONE(オゾン)は、新宿パークタワー3F~7Fの5フロアに展開する住まいとインテリアの情報センター。家づくりやインテリア関連のショールームやショップのほか、製品カタログやサンプルを集めたライブラリーがあります。暮らしにまつわるセミナー&ワークショップも随時開催。専門家による新築・リフォーム・インテリアのご相談も承ります。ぜひお気軽にお越しください。



わたしのサス活



アクセス: JR新宿駅南口から徒歩約12分  
新宿西口エルタワー前より無料シャトルバス運行

## リビングデザインセンターOZONE

東京ガスコミュニケーションズ株式会社  
〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1  
新宿パークタワー 3-7F  
03-5322-6500(代)  
営業時間:10:30-18:30  
休館日:水曜日(祝日除く)

## ザ・コンランショップ 新宿店

営業時間:11:00-18:30  
休業日:水曜日(祝日除く)

[www.ozone.co.jp](http://www.ozone.co.jp)



Instagram: ldc\_ozone  
Twitter: @LDC\_OZONE  
Facebook: LDCOZONE

環境に配慮した植物油  
インキで印刷しています。



OZONE家designで建てた  
愛着の生まれる家

設計・  
監理 | 君塚 健太郎 きみづかアーキテクツ  
一級建築士事務所

担当 | OZONE  
住まいづくりコンサルタント



## スミツグイェ 推定築300年の古民家再生

宮城県仙台市。杜の都と称され、屋敷林（居久根／いぐね）に守られた広い敷地内には、母屋と数棟の建物と祠、畑、果樹などがあり、代々活用されてきました。

2011年（平成23年）3月11日に起きた東日本大震災。S様のご実家である古民家（農家住宅）は、津波により柱が傾きながらも流れず持ちこたえました。解体して建て直そうという意見もありましたが、この震災を機に東京で暮らしていたS様ご夫婦は、実家の再生と地元復興のため地元へ帰る事を決意します。300年の暮らしの歴史を自分達の後の世代にも引き継ぐため、子育てと仕事を両立させて将来は「小さな食堂」を作ろう、という目標を掲げました。

再生工事は1期・2期工事、そして屋根の葺き替え工事と、10年余りの長期にわたり進められました。間取りはご夫婦のこれからの生活に合わせて部分的に変更しています。入口の引戸を開けて入った広い土間部分は、玄関ホールと家族の食堂です。食堂の右手にはバーカウンターのああるキッチン。キッチンからは、竈（カマド）・書斎・居間へと通り抜けられます。左手には神棚の間・仏間の続き間と庭を望める広縁があります。将来小さな食堂を開く場合は、土間部分の食堂と共に、広縁も客席として使えるような間取りを考えました。そして、食堂の先は一段上がった書斎・居間。ゆくゆくは、書斎・居間を家族と食堂利用者の間にあるセミプライベート空間として、双方をつなぐ交流の場にしたいたいと思っています。書斎・居間からは、寝室へつながる廊下を利用した図書ギャラリーがあり、緩やかにプライベート空間へと移行します。

過去から未来へと「スミツグ」、持続可能な暮らしがここに実現しています。

### 今回のご要望

実家の古民家を再生し  
将来は小さな食堂に！

## OZONE家designの解決策

### 01 無料相談

建築士の資格を持つ「住まいづくりコンサルタント」がお話を伺い、今後の進め方・依頼先の選定などをお手伝いします。

### 02 計画を実行可能な建築家のご紹介

伝統工法を用いた古民家のリノベーションは誰に依頼すれば成功するのか…。OZONEでは実績を重視して建築家数名をご紹介します。

### 03 クライアントに寄り添える建築家の選定

工事は長期にわたり、数回に分けて実施したいというご要望。候補を数名推薦し、快く対応してくれる建築家を探しました。

ご利用コース  
紹介コース（無料）



詳しくはこちら

## OZONE 家 design

「OZONE 家 design」は OZONE が運営するサポートシステムで、お客様の要望や暮らしに合わせて建築家・工務店・ハウスメーカーを OZONE 住まいづくりコンサルタントが紹介します。

お問い合わせ・お申込み：03-5322-6518



- ①テレワークが可能なご主人の書斎のワークデスク。（撮影：フォスタジオモノリス）
- ②右側のコーナー出窓は、奥様が以前から一番好きだった場所をキッチンの作業スペースに改修。中央が玄関、左側が和室の広縁部分。（撮影：フォスタジオモノリス / 正面外観写真 ※リノベ後）
- ③神棚の間。古民家の変遷を物語る小屋組はあえて塗装を行わず、ありのままに見せている。（撮影：中川敦玲）
- ④住みながらの屋根の葺き替え。塵が舞う中、傘を差して屋根の工事を見上げるお嬢さん。（撮影：S様提供）
- ⑤神棚の間・仏間広縁側の面格子状の耐力壁に合わせて、障子の棧のピッチを決めている。（撮影：中川敦玲）

